

「東北コットンプロジェクト」の今—— 3

# 復興は 綿の花の実る下で

綿花栽培による津波 被災の農地の除塩・農 業再生を目指す「東北



草取り作業で「がんばろう日本」と捺染した泉州タオルを提供

コットンプロジ  
「エクト」に参加  
する大正紡績の  
近藤健一取  
締役らは26  
日、既報の  
通り仙台市  
若林区の栽  
培農地で草取り  
作業を行った。  
今回の作業に大  
阪タオル工業組  
合青年部の有志

## 大阪タオル工業組合青年部有志 草取りの汗を拭う「泉州タオル」 避難所にも3000枚無償配布

4人も参加。作業で使えるように泉州タオルを提供した。

今回、草取り作業に参加したのは、大阪タオル工業組合青年部に所属する袋谷さんの4人。ボ

各地の避難所に「泉州タオル」を届けた



袋谷謙治さん、ウエノの上野勝宣さん、田順太郎工場の中秀樹さん、神藤タオルの神藤貴志さんの4人。ボ

訪問。各避難所に支援物資として泉州タオルを合計3000枚無償提供した。青年部会長を務める袋谷さんによると「自治体が運営する避難所では、かなりの物資も行き届きつつあるが、福祉協議会などが設置している小規模な避難所では、まだまだタオルなどが不足していることがよく分かった」と話す。大阪タオル工業組合青年部としても、引き続き可能な限りの支援を行っていく考えだ。

(随時連載)